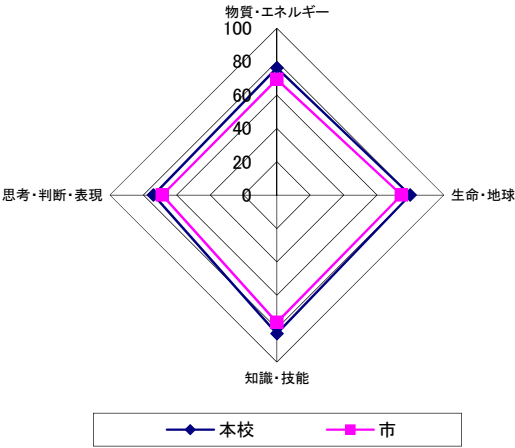


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	76.3	69.3	65.7
	生命・地球	79.9	74.7	77.8
観点別	知識・技能	82.9	76.2	76.4
	思考・判断・表現	73.9	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は市の平均より高い。 ○「ふりこのきまり」の実験計画について考える設問では、約17ポイント上回っており、学習内容の定着が見られる。 ●「物の燃え方」のろうそくの火が消えた理由についての考察に関する設問では、市の平均を約12ポイント下回っており、正答率についても50%を下回っている。	・観察や実験の結果から分かったことを、自分の言葉を使って表現する機会を多く設けることで、科学的な事象に関する知識を正しく理解させたい。
生命・地球	平均正答率は、市の平均より5.2ポイント高い。 ○一つの設問を除き、市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着が見られる。 ●動物のからだのつくりとはたらきについて、唾液の働きを調べる実験に関する設問では、市の平均正答率と同程度であった。	・理科の学習活動の流れを工夫したい。学習内容を身の回りのことと結びつけ、疑問から仮説を立て、仮説を確かめるために実験方法を考える。また、実験の結果から考察をしないと、いった活動を丁寧に行うことで、何のために実験するのか、何のためにこの条件なのかといった理由付けを正しく定着させたい。